

令和5年度 瀬戸将棋文化振興協会 事業報告

(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

1 普及啓発事業

(1) 瀬戸将棋文化振興協会会員数

日本将棋連盟支部としての会員数(令和6年6月30日現在)

正会員 583名(一般会員321名、女性会員260名、学生会員2名)

賛助会員 115口(70の企業・団体)

(2) 瀬戸将棋文化振興協会設立5周年記念「瀬戸将棋まつり」開催

開催日:令和5年8月27日(日)

開催場所:瀬戸市文化センター

①こども将棋大会(文化交流館31会議室)※5回目

小学2年生以下(30人)、小学3・4年生(29人)

小学5・6年生(29人)、中学生(29人)

参加者:117人(応募者197人)

②公開対局(文化ホール)

『第1局 齊藤裕也四段 対 柵木幹太四段』

解説 木村一基九段 聞き手 脇田菜々子女流初段

『第2局 木村一基九段 対 澤田真吾七段』

解説 杉本昌隆八段 聞き手 室田伊緒女流二段

参加者:800人

③関連事業

「将棋駒・駒材いろいろ」展示(尾張一宮将棋同好会代表 神田和徳氏)

※文化ホール

「せと将棋うどん」(ハル企画)※市民広場

「瀬戸焼そば」(瀬戸焼きそばアカデミー)※市民広場

(3) 第21回詰将棋解答選手権瀬戸会場開催

全国19か所で同時に開催された第21回詰将棋解答選手権の瀬戸会場として瀬戸将棋愛好会の協力のもとに開催

開催日:令和6年4月13日(土)

開催場所:瀬戸市文化センター文化交流館31会議

参加者:初級戦29名、一般戦23名

2 人材育成事業

- (1) 指導対局（瀬戸将棋まつりにおけるこども将棋大会において実施）
木村一基九段、杉本昌隆八段、澤田真吾七段、齊藤裕也四段、柵木幹太四段、
竹内貴浩指導棋士四段、室田伊緒女流二段、脇田菜々子女流初段、
山口稀良莉女流1級、山口仁子梨女流2級、宮嶋健太三段
※段位等は当時
- (2) 小中学校での将棋指導（将棋教室）
小中学校と連携し将棋クラブなどへの参加者に対する将棋の指導を実施。
 - ・瀬戸市立效範小学校
令和5年7月26日（水）中澤沙耶女流二段による指導
 - ・瀬戸市立南山中学校
令和5年8月1日（木）柵木幹太四段による指導

3 広報・宣伝事業

- (1) 協会新ホームページにより情報発信
 - ・協会各事業案内、結果報告
 - ・地元棋士タイトル戦情報
 - ・HPからの会員登録
- (2) 広報せとへの将棋関係情報の掲載
- (3) 瀬戸将棋タクシー企画
瀬戸自動車運送株式会社（マルセタクシー）との連携し、将棋キャラクターをラッピングした「瀬戸将棋タクシー」の運行を開始した。
 - ・企画に合わせ、瀬戸市出身の漫画家である中島みるく氏に将棋キャラクターの作成を依頼。（瀬戸将太郎くん、瀬戸将子ちゃん）
 - ・令和5年10月20日（金）に出発式を実施。

4 地元棋士応援事業（藤井聡太竜王・名人関係）

- (1) パブリックビューイング及びくす玉開き等
 - ・令和5年7月18日（火）
第94期棋聖戦 防衛くす玉開き
 - ・令和5年8月23日（水）
第64期王位戦 防衛くす玉開き
 - ・令和5年10月11日（水）
第71期王座戦 パブリックビューイング開催、獲得くす玉開き

※史上初八冠達成

- ・令和5年11月11日（土）
第36期竜王戦 防衛くす玉開き
- ・令和6年2月8日（木）
第73期王将戦 防衛くす玉開き
- ・令和6年3月17日（日）
第49期棋王戦 防衛くす玉開き
- ・令和6年5月27日（月）
第82期名人戦 防衛くす玉開き

(2) 藤井聡太さん最年少名人・七冠お祝い花火

- ・令和5年10月1日（日）瀬戸市制施行記念日
- ・藤井聡太さんお祝い花火実行委員会の主催、民間の協賛で開催
（瀬戸市、瀬戸商工会議所、瀬戸将棋文化振興協会、グリーンシティケーブ
ルテレビ(株) 委員長 水野和郎）
- ・7冠を記念し700発を打ち上げ

(3) 藤井聡太棋士応援コーナー

令和4年3月18日（金）に瀬戸信用金庫栄町支店に開設した応援コーナーについては、令和5年10月11日（水）の八冠獲得、令和5年11月8日（水）の瀬戸市名誉市民への推挙を経て、令和5年11月22日（水）をもってその役割を終了した。（瀬戸市等への移管）

5 その他

(1) 会員向け記念品の作成及び配布

「瀬戸将棋文化振興協会」記念イヤープレート2024年度の作成

(2) 島根県出雲市平田一式飾り保存会との連携事業

- ・平田一式飾り保存会が、藤井聡太竜王・名人をイメージした作品「未来の将棋」を制作、令和5年9月9日（土）10日（日）の「第92回せともの祭」において瀬戸信用金庫栄町支店（応援コーナー）に展示。併せて、平田一式飾りの制作体験を実施。同時に出雲市の物産の紹介も行った。

(3) 将棋文化振興自治体「全国将棋サミット2023」（瀬戸市と参加）

- ・令和5年10月28日（土）大阪府高槻市の高槻城公園芸術文化劇場・南館トリシマホールで開催。
- ・記念講演会及び参加自治体による将棋事業報告・取組発表

令和5年度 瀬戸将棋文化振興協会収支決算書
(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
会費	3,378,000	3,578,000	正会員 583名(一般 321名・女性 260名・学生 2名) 賛助会員 70企業・団体(115口)
負担金	1,500,000	1,500,000	瀬戸将棋まつり及び事業運営(財団負担金)
補助金	2,000,000	2,000,000	瀬戸将棋まつり(瀬戸信用金庫地域振興協力基金)
事業協賛金	100,000	0	
寄付金	1,000	0	
事業収入	128,000	406,930	こども将棋大会参加料(@1,000×117名)、瀬戸将棋まつり販売物売上、詰将棋解答選手権参加料(26,700円)
雑収入	1,000	371,234	預金利息13円+11円、つり銭返金、振込手数料返金
繰入金	0	1,398,171	お祝い花火実行委員会
繰越金	1,684,373	1,684,373	
合計	8,792,373	10,938,708	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
謝礼	200,000	0	
報償費	1,100,000	695,836	会員記念品(名人・王座祝杯盃)、瀬戸将棋まつり・詰将棋解答選手権報償費、こども将棋大会賞品
消耗品費	200,000	465,299	くす玉用クロス、応援ボード用のり付パネル、賞状用紙、色紙等
印刷製本費	200,000	429,214	瀬戸将棋まつりPRチラシ・ポスター印刷、詰将棋解答選手権PRチラシ・ポスター印刷、クリアファイル等
賄費	50,000	97,780	瀬戸将棋まつり参加棋士、出雲平田一式飾り関係者、詰将棋解答選手権採点者賄費
手数料	400,000	457,828	HPLレンタルサーバー代、PR横断幕作成、将棋タクシーラッピング、振込手数料等
備品費	100,000	0	
通信運搬費	400,000	324,123	郵便料金、電報料金等
委託料	4,500,000	4,496,880	瀬戸将棋まつり運営委託(GCTV・日本将棋連盟東海普及連合会)、詰将棋解答選手権運営委託(GCTV)、イラスト製作、せともの祭会場設営等
負担金	1,493,000	1,701,000	日本将棋連盟支部会費、愛知県支部連合会費、瀬戸市文化協会会費、まるっとミュージアム観光協会費等
雑費	149,373	623,903	つり銭、関係団体手土産等
合計	8,792,373	9,291,863	

収入額－支出額	1,646,845
---------	-----------